

令和5年度〈校長室だより〉NO.2

新中だより

令和5年5月10日
新庄市立新庄中学校
連絡先 TEL22-1555
文責 永井 康博



新庄中 HP

称笑(たたえ)～格好悪いところも好きだから～

令和5年度の運動会が、4月29日(土)に行われました。毎年、3年生の学級を基に運動会の組を組織しており、今年度は「赤」「青」「白」の3組対抗。来年度以降は、各学年2クラスになるので、最後の3組対抗の運動会になるかもしれません。1組の人数が、60人弱と少ないのですが、その分、一人一人の責任が重く、一人一人が主役になれる運動会といってもいいかもしれません。

今年の運動会のテーマは、「称笑(たたえ)～格好悪いところも好きだから～」です。「称笑(たたえ)」の言葉には、お互いの挑戦を褒め合って笑顔になり、自分たちの力を伸ばしていこうという願いが込められています。

当日は、快晴、絶好の運動会日和。開会式では、4年ぶりの大声を出しての校歌斉唱。久しぶりの迫力ある校歌に、運動会の成功を予感するとともに、感動で目頭が熱くなりました。生徒たちは勝利を目指し本気で頑張ってくれました。生徒たちが一番時間をかけて作り上げてきたものは各組の応援合戦です。応援合戦は、ダンスや演舞、口上などで構成され、時間は6分以内。特に各組の幹部は、この6分のためにどれだけの時間と労力を使ってきたことか。ダンスや演舞の構成を考えたり、練習の体制を考えたり、本当に大変だったでしょう。幹部だけでなく3年生も1・2年生に指導したり模範演技をみせたりとても協力的でした。本番では、その成果をしっかりと発揮し、各組ともに素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。マスクなしの応援は迫力があり、統制のとれたダンスや演舞は、生徒たちの熱い思いを感じ、心が熱くなりました。

その後の、徒競走や学年種目、団体種目も全員が全力で競技する姿を見てうれしく感じました。後半のリレー競技と長距離走は、組の代表選手によるものです。組のため、自分のために必死で走る姿、勝って喜ぶ姿や負けて悔しがる姿をみて感動しました。必死でやっているからこそ自然に出る喜びや悔しさ。もしかすると、長距離走では走りたくないのに組のために出場した人もいるのかもしれませんが、しかし、最後まで全力で走りきった。この経験が人間として大きく成長させてくれると信じています。

今回の運動会では、新たな自分に挑戦してくれた生徒が多かったように感じました。今まであまり人前に立つことがなかった自分や本気になれなかった自分、嫌なことから逃げることが多かった自分などから、新たな自分への挑戦。やりきった皆さんを心から笑顔で称えます。

見事でした、息の合った、迫力のある応援合戦



青組



赤組



白組